

アビストとpluszero、「AEI(Artificial Elastic Intelligence)」 の普及を目指し業務資本提携内容を拡大 - 「3DCAD」や「AEI」のコラボを通して製造業の設計工程の生産性向上を実現-

機械設計・システム・ソフトウェア開発を行う株式会社アビスト(本社:東京都三鷹市、以下アビスト)は、AI・自然言語処理を通して事業コンサルティング、サービス提供を行い、自然言語処理分野に注力する株式会社pluszero(本社:東京都世田谷区、以下プラスゼロ)と締結しておりました業務資本提携に関して、「AEI(Artificial Elastic Intelligence)」の普及を目指して業務提携内容を拡大いたしました。



■「AEI(Artificial Elastic Intelligence)」とは

「AEI(Artificial Elastic Intelligence)」とは、「特定の限られた業務の範囲において、人間のようにタスクを遂行できるAI」のことを指す、自然言語処理分野に注力するプラスゼロが独自に提唱する概念です。現在のAI技術では実現が難しいとされている「汎用人工知能」に代わり、プラスゼロでは特定条件に絞ることによって実用的な水準での業務遂行を可能とする技術である、この「AEI」の実現を目指しています。

2021年4月、プラスゼロはAEIの根幹となる「意味理解AI」に基づく特許技術の申請を行いました。今後、一連の取り組みを通し、人間の言葉を高いレベルで理解できる「意味理解AI」の研究開発を進めることにより「AEI」は実現され、プラスゼロは3年～5年後の実用化、さらには5～10年後の本格普及を目標としています。

■プラスゼロとの業務資本提携について

アビストとプラスゼロは、2018年9月より業務提携、2019年12月より資本提携を行っておりましたが「AEI」の実現と普及を目指すプラスゼロの姿勢に賛同し、2021年8月に業務提携内容を拡大いたしました。「AEI」の実現と普及に向けて両社の協力体制をより一層強固にすることが狙いです。

具体的な取り組みとして、早期に「AEI」を製造業分野に適用し、アビストの持つ製造業の設計支援テクノロジー「3DCAD」やAI・IT関連の技術者と、プラスゼロの「AEI」を中心とした「意味理解AI」に強い技術者のコラボレーションによって、更なる製造業の設計工程の生産性向上を目指します。

この製造業の「AEI」の適用においては、条件を整えることによって、今後はビジネスプロセスアウトソーシングの形でビジネスの一部のプロセス全体を請け負うことを目指しています。

その他、「3DCAD」の圧倒的専門性を持つアビストの技術と、プラスゼロの「AEI」を組み合わせることにより、3Dモデルを活用した良質なシミュレーション環境の整備を加速させ、言語情報と視覚情報を高度に組み合わせたマルチモーダル環境における「AEI」利用に関するコラボレーションについても視野に入れて取り組んでまいります。

■アビスト企業概要

社名	:株式会社アビスト
資本金	:10億2,665万円
代表者名	:進 勝博
事業内容	:工業設計技術サービス事業【請負、技術者派遣】（機械設計開発、システム・ソフトウェア開発、電気・電子設計開発、AIソリューション）、3Dプリント事業、3D-CAD教育事業（取引先のエンジニア教育、工業系大学の3D-CAD教育受託他）、不動産賃貸事業、美容・健康商品製造販売事業（株式会社アビストH&F）
URL	: https://www.abist.co.jp/index.html

■プラスゼロ企業概要

社名	:株式会社 pluszero(プラスゼロ)
資本金	:1億円
代表者名	:小代 義行 代表取締役会長 CEO / 森 遼太 代表取締役社長 COO
事業内容	:AI・自然言語処理・ソフトウェア・ハードウェア等の各種テクノロジーを統合的に活用したソリューション提供・開発・保守・運用および販売、ならびに受託及びそれらに付帯するコンサルティング業務
ビジョン	:人の可能性を広げる
ミッション	:知の創発により、新しい選択肢を生み出す
バリュー	:ユニークなプロフェッショナルであれ
顧問	:宇陀 栄次(Product Market Fit Adviser) 元セールスフォース社長 ユニファイド・サービス社創業者、会長CEO、YEXT 日本法人代表取締役会長 :影山泰仁(Customer Success Promotion Adviser) 元ベリングポイント副社長
URL	: https://plus-zero.co.jp/
特許申請中	:情報処理システム及び仮想人材